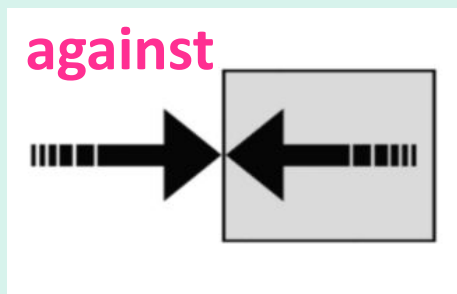


<前置詞> againstの世界

CORE IMAGE

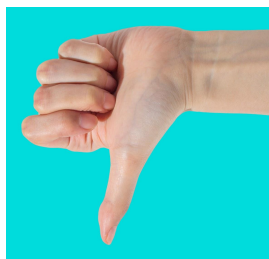


対象に対抗して

The ship sailed against the wind.

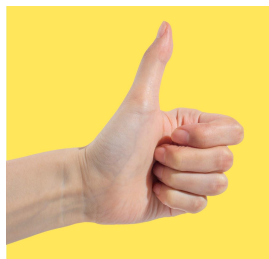


against は for と関連のある前置詞です。I'm for the plan. (私はその案に賛成だ)と I'm **against the plan.** (私はその案に反対だ)は対比的です。for は<指をさす>というイメージから<支持>へと意味展開します。against のコアイメージは、上の図のように「**対象に対抗して**」というものです。



I'm **against** the plan.

私はその案に反対だ



I'm **for** the plan.

私はその案に賛成だ

「対抗」から「緊張関係」が生まれます。 **The ship sailed against the wind.** (その船は風に対抗して航海した)が典型的な against の使い方です。 **She placed her ear against the wall.** は例えば「彼女は壁に耳をぎゅっと押し当てた」ということで以下の画像やイラストのようなイメージになります。



The ship sailed **against** the wind.

その船は風に対抗して航海した



She placed her ear **against** the wall.

彼女は壁に耳をぎゅっと押し当てた



「まさかの時に備えて金を貯めた」を英語で表現するのに、**I saved money against a rainy day.** とも I saved money for a rainy day. とも言います。for より against のほうが「不慮の場合を考慮して積極的に蓄える」というニュアンスがありますね。



I saved money **against** a rainy day.
／ I saved money **for** a rainy day.

まさかの時に備えて金を貯めた

「賛成と反対」の意味では for と against は対立し、「備えて」の意味では、両者の対立は消えるという印象を持つかもしれません。しかし、**against a rainy day** というとき、「対抗して、逆らって」のニュアンスが消えているわけではありません。

against の対抗的な意味は、with との比較にもあらわれます。They fought with the enemy. も **They fought against the enemy.** も「彼らは敵と戦った」と訳されますが、against を使うほうが「対抗して戦う」の意は強くなります。fight with the enemy だと「敵との戦い」というニュアンスになります。



They fought **against** the enemy.
／ They fought **with** the enemy.

彼らは敵と戦った